

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 保健体育

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p>〈現状〉 学習のポイントがわかる生徒が9割を超えている。やるべきことを理解している生徒が多い。</p> <p>〈課題〉 グループの取り組みになると、消極的になる生徒が多い。リーダーの育成が課題である。また、苦手なことはすぐに諦める傾向がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループでの声掛けの仕方を例示したり、仲間と協力して活動する楽しさや喜びを与える授業展開を行う。 苦手な活動に対して、グループでの活動を増やし、練習方法の工夫を行う。仲間と協力することで、苦手なことにも継続的に取り組める雰囲気作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート 個人学習カード 定期テスト 授業観察 	<p>授業観察のなかで生徒とコミュニケーションをとることを意識した。</p>	<p>授業観察のなかで生徒に個別のアドバイスを増やし、技能の向上が見られた。また、プラスの声かけも増えてきたが、温度差が大きいことが課題である。</p>
2年	<p>〈現状〉 学習のポイントがわかる生徒が9割を超えている。自分の課題を理解している生徒が多い。</p> <p>〈課題〉 苦手な課題でも諦めず取り組む力が必要である。与えられた課題だけでなく、自ら考え行動にうつす力も必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動画や学習カード、資料等を活用し、苦手な課題に対する意欲を高めていく。 グループでの活動を増やし、自己や他者の課題を明確にし、自分達で考え行動するような場の設定を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート 個人学習カード 定期テスト 授業観察 	<p>グループ活動の合間にフィードバックの時間を増やした。</p>	<p>意欲的に活動できる生徒が大半となった。フィードバックの時間を増やしたが、建設的な話にならないことも多かったことが課題である。</p>
3年	<p>〈現状〉 学習のポイントがわかる生徒が9割を超えている。リーダーが声をかけ積極的に活動できている。</p> <p>〈課題〉 指示を待つのではなく、自ら考え、行動にうつす力が必要である。また、グループで協力し、より良い活動にするために、意見を出し合うことが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学んだ事や資料等を活用し、自己やグループの課題を解決できるような話し合いの場を多く設ける。 グループ全体が意欲的で活気のある活動にするために、コミュニケーション能力を高められるようなウォーミングアップを取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート 個人学習カード 定期テスト 授業観察 	<p>理解が進んでいなさそうな生徒には個別に声かけをしたり、チームリーダーにアドバイスをさせたりして、みんなで上達する楽しさを感じられる授業を展開した。</p>	<p>3年間の継続した指導の結果、リーダーを中心に、運動に親しむ力を育成することができた。苦手なことから逃げず、他者との関わりを通して、粘り強く挑戦する姿勢をもてる生徒が増えた。</p>